令和８年度 全国私立中学高等学校

全国私学教育研究集会
青森大会 実施案内

会 期
令和８年
11月12日(木)・13日(金)

会 場
弘前市民会館
アートホテル弘前シティ
弘前パークホテル(青森県弘前市)

私学教育が目指す持続可能な社会を考える

主催　一般財団法人日本私学教育研究所
実施　新潟県･東北６県私立中学高等学校協会協議会　青森県私立中学高等学校長協会
後援　青森県　弘前市　日本私立中学高等学校連合会

も　く　じ

ご案内 …… 1
大会役員等一覧 …… 2
実施概要 …… 3
全体集会 …… 6
記念講演・青森県私立学校活動紹介 …… 7
　1　私学経営部会 …… 8
　2　教育課程部会 …… 10
　3　法人管理事務運営部会 …… 12
　4　生徒指導部会 …… 14
　5　進路指導部会 …… 16
運営委員・専門委員一覧 …… 18
参加（大会・教育懇談会）申込みと参加費の納入について …… 20
会場のご案内 …… 22
宿泊の申込みについてのご案内 …… 23
宿泊申込書
参加申込書

※本実施案内中の中学校と高等学校の併設校の学校名の表記につきましては、一部を除き「〔学校名〕中学高等学校」として掲載しておりますのでご了承下さい。

ご　案　内

「高等学校等就学支援金」拡充といった国の新たな施策が実施されます。一方、学校現場に目を向けると、深刻さを増す少子化による生徒数減少や多様な児童生徒への対応、教職員志望者の減少など学校を取り巻く環境は複雑化し、困難を極めております。また、子供が自ら課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習内容の充実など、授業革新を図っていくことがますます重要になってきています。そのような中で、私立学校は各校の「建学の精神」に基づき、これからの社会に貢献できる人材育成が強く求められています。

令和 8 年度の「全国私学教育研究集会」は、「私学教育が目指す持続可能な社会を考える」を研究目標に、11 月 12 日（木）、13 日（金）の 2 日間、青森県弘前市で開催いたします。当大会の青森県での開催は初めてとなり、10 月に青森県で開催される国民スポーツ大会・障害者スポーツ大会の関係で例年より遅い時期での開催となりますが、うっすらと初雪をかぶった「津軽富士」と呼ばれる岩木山と赤いリンゴのコントラストが素晴らしい景色をご覧頂けるのではないかと思っております。会場は、初日全体会は弘前市民会館、教育懇談会はアートホテル弘前シティ、2 日目の各部会はアートホテル弘前シティと弘前パークホテルを会場に開催いたします。

初日の全体集会では、はじめに、青森県私立学校活動紹介を行い、日本私立中学高等学校連合会と日本私学教育研究所より「教育政策と私学情勢について」と題して中央情勢報告及び今後の私学教育への取り組み等の報告を行います。続いて、青森県三内丸山遺跡センター顧問兼特別研究員の岡田康博氏をお迎えし、「世界遺産・縄文遺跡群に学ぶこと」と題して記念講演を頂きます。岡田氏は青森県弘前市のご出身で、文化庁文化財調査官や青森県教育庁文化財保護課長等をお勤めになり、青森県企画制作部世界文化遺産登録専門官として世界遺産「北海道・東北の縄文遺跡群」の実務責任者として世界文化遺産登録を実現されました。青森県や東北地方における縄文文化や世界文化遺産関連等興味深いお話を伺えると思います。

2 日目は 5 つの部会（私学経営部会、教育課程部会、法人管理事務運営部会、生徒指導部会、進路指導部会）に分かれ、参加された先生方が課題と今後の対応について共有して頂ける機会としたいと考えております。

開催地である弘前市は、津軽藩十万石の城下町として栄えた歴史と文化、そして日本一の生産量を誇る「りんご」の街です。また、弘前公園の桜、弘前ねぷたまつり、明治・大正期の洋風建築が残る街並みが特徴で、豊かな自然と四季折々の祭りが楽しめることから、「お城とさくらとリンゴのまち」とも呼ばれ、国内のみならず海外からのお客様も多く訪れています。 近隣には、五所川原市の高さ約 23m の巨大な山車を展示する「五所川原立佞武多の館」、文豪・太宰治の生家「斜陽館」や大英博物館所蔵の「秋冬花鳥図」と対になる一連の作品であることが判明した中泊町にある旧家・宮越家「詩夢庵」に伝わる狩野派の襖絵「春景花鳥図」など見どころいっぱいの街です。その他に青森県内には世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を代表する三内丸山遺跡や世界自然遺産「白神山地」などもあり、本大会の前後に是非お立ち寄り頂ければと思います。

また、本県には美味しい日本酒も豊富にあり、教育懇談会ではそういった県内の地酒を集め、参加された皆様方に堪能して頂ければと思います。

青森県でしかできない、青森県だからできる大会にしようという気持ちで、青森県内 17 校の私立学校教職員一同、皆様のご参加をお待ちしております。

令和 8 年 5 月

全国私学教育研究集会青森大会

実行委員長　森　　涼

（新潟県･東北 6 県私立中学高等学校協会協議会　会長）

（福島県私立中学高等学校協会　会長）

副実行委員長　里　村　智　彦

（青森県私立中学高等学校長協会　会長）

大会役員等一覧（順不同）

１．大会役員

吉　田　　晋	一般財団法人日本私学教育研究所　理事長 富士見丘中学高等学校　理事長・校長
長　塚　篤　夫	一般財団法人日本私学教育研究所　副理事長・全国集会総括責任者 北里大学附属順天中学高等学校　校長
山　中　幸　平	一般財団法人日本私学教育研究所　副理事長 学校法人山中学園　学園長
平　方　邦　行	一般財団法人日本私学教育研究所　理事・所長
鈴　木　康　之	一般財団法人日本私学教育研究所　理事・全国集会副総括責任者 水戸女子高等学校　理事長・校長

２．実行委員

委員長 森　　涼	新潟県･東北６県私立中学高等学校協会協議会　会長 福島県私立中学高等学校協会　会長 学校法人石川高等学校･石川義塾中学校　理事長・校長
里　村　智　彦	青森県私立中学高等学校長協会　会長 八戸聖ウルスラ学院中学･高等学校　理事長・校長
小田島　順　造	一般社団法人岩手県私学協会　会長 花巻東高等学校　理事長・校長
加　藤　雄　彦	宮城県私立中学高等学校連合会　会長 仙台育英学園高等学校･秀光中学校　理事長・校長
鈴　木　寿　宝	秋田県私立中学高等学校協会　会長 秋田修英高等学校　校長
田　宮　邦　彦	山形県私立中学高等学校協会　会長 新庄東高等学校　理事長・校長
田　中　利　夫	新潟県私立中学高等学校協会　会長 日本文理高等学校　校長
長　内　弘　光	学校法人弘前学院　学院長 弘前学院聖愛中学高等学校　校長
長　塚　篤　夫	一般財団法人日本私学教育研究所　副理事長・全国集会総括責任者 北里大学附属順天中学高等学校　校長
平　方　邦　行	一般財団法人日本私学教育研究所　理事・所長
鈴　木　康　之	一般財団法人日本私学教育研究所　理事・全国集会副総括責任者 水戸女子高等学校　理事長・校長

３．運営総括委員

委員長 長　内　弘　光	学校法人弘前学院　学院長 弘前学院聖愛中学高等学校　校長
木　下　保　樹	下山学園高等学校　校長
葛　西　由起子	五所川原第一高等学校　校長
井　上　嘉名芽	東奥義塾中学校・高等学校　塾長
芦　野　佐由利	柴田学園大学附属柴田学園高等学校　校長
虻　川　昭　吾	弘前東高等学校　校長

実 施 概 要

１　研究目標　**私学教育が目指す持続可能な社会を考える**

世界は急速に変容しており、人口減少といった社会の根本的な問題にも歯止めが掛からない状況が続いている。これからの時代を担う生徒一人ひとりが自らの価値を認識し、可能性を信じて多様な人々と協力しながら社会の変化を乗り越える私学教育を考えていく。

２　会　　期　令和８年１１月１２日（木）～１３日（金）の２日間

３　会　　場　初　日　弘前市民会館及びアートホテル弘前シティ
　　２日目　アートホテル弘前シティ及び弘前パークホテル

４　募集人員　４００名

５　参加対象　都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校の管理職･教職員

６　基本日程　※日程は変更となる場合があります。

月日	9	10	11	12	13 30	45	14 15	15 15	45	16	17 30	18 30	19	20 30
初日 11/12（木）				受 付	開会式	★	全 体 会 ※1 報告Ⅰ		※2	★	記念講演	★	教育懇談会	
２日目 11/13（金）		部 会		昼 食	部 会						（※1）私立学校活動紹介 （※2）報告Ⅱ （★）休憩･移動			

（注）部会日程は、部会により若干異なる場合がございます。詳細は各部会実施概要をご覧下さい。

７　全 体 会

青森県私立学校活動紹介

「吹奏楽演奏」　　青森山田中学高等学校吹奏楽部

報　　告　「教育政策と私学情勢について」

日本私立中学高等学校連合会　会長　吉　田　　晋

一般財団法人日本私学教育研究所　所長　平　方　邦　行

記念講演　「世界遺産・縄文遺跡群に学ぶこと」

三内丸山遺跡センター　顧問兼特別研究員　岡　田　康　博

８　部　　会

１ 私 学 経 営 部 会

私学の魅力向上と効果的発信を考える

募集人員　１００名

２ 教 育 課 程 部 会

生成 AI と協働する学びの革新

募集人員　１００名

３ 法人管理事務運営部会

より良い私学運営を追求する労務管理

募集人員　１００名

４ 生 徒 指 導 部 会

多様な背景を持つ子どもたちへの教育支援を考える

募集人員　　５０名

５ 進 路 指 導 部 会

私学教育における社会の創り手の育成
～地域と共に学び、支え合い、幸せを育む～

募集人員　　５０名

●各部会の日程、内容等については 8 ページ以降に掲載しています。
●参加ご希望の部会を申込書記入欄にご記入の上、お申し込み下さい。
●募集定員に達した場合、募集を締切ることがありますので予めご了承下さい。

９ 参 加 費　１６，０００円

（2 日目昼食費を含む。宿泊費・教育懇談会費別）

10 参加申込　本案内の 20 ページを参照の上、**１０月２３日（金）まで**に参加申込みをお願いします。

11 問 合 先　一般財団法人日本私学教育研究所
「全国私学教育研究集会 青森大会」担当
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階
TEL 03（3222）1621　　FAX 03（3222）1683
ホームページ　https://www.shigaku.or.jp/

教育懇談会

日　時　　令和８年１１月１２日（木）　18 時 30 分～〈正餐形式〉
会　場　　アートホテル弘前シティ
参加費　　１０，０００円　　参加をご希望の方は大会参加申込書の教育懇談会申込欄の「参加」を〇で囲んで下さい。

●傷害保険について

本大会期間中の参加者等の傷害保険には、加入致しませんのでご承知おき下さい。

ご参加の皆様へお願い

〇研修会場での動画・写真撮影等について

・当研修会での主催者記録係・取材メディア以外による録画・録音は禁止します。
・講師・発表者等の許可無く研修会の写真・内容等のホームページ・ブログや各種 SNS 等へのアップロードは禁止します。
・撮影した動画・写真は当研究所広報活動（刊行物・ホームページ掲載等）や取材メディアの新聞掲載等で使用する場合があります。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が写真や動画に映り込む可能性がありますので、予めご了承下さい。

全 体 集 会

１　日　　時　　令和 8 年 11 月 12 日（木）　13 時～17 時 30 分

２　会　　場　　弘前市民会館

３　開　会　式　　13 時～13 時 30 分

(1)　開会のことば
(2)　主催者挨拶
(3)　実行委員長挨拶
(4)　来賓祝辞
(5)　次期開催地区代表挨拶
(6)　閉式のことば

４　全　体　会　　13 時 30 分～17 時 30 分

青森県私立学校活動紹介

「吹奏楽演奏」　　**青森山田中学高等学校吹奏楽部**

報　　告　「教育政策と私学情勢について」

日本私立中学高等学校連合会　会長　**吉　田　　晋**

一般財団法人日本私学教育研究所　所長　**平　方　邦　行**

記念講演　「世界遺産・縄文遺跡群に学ぶこと」

三内丸山遺跡センター　顧問兼特別研究員　**岡　田　康　博**

記 念 講 演

「世界遺産・縄文遺跡群に学ぶこと」

岡　田　康　博　三内丸山遺跡センター 顧問兼特別研究員

【プロフィール】

1957 年弘前市生まれ。幼少期から考古学者の父親や叔父の影響を受け、考古学を学ぶ。弘前大学卒業後、青森県教育庁で文化財保護の仕事に携わる。1992 年から三内丸山遺跡の発掘責任者となり、調査研究や保存活用を手掛ける。2002 年文化庁文化財調査官となり、全国の遺跡の調査指導を行う。2006 年、青森県に復帰し、三内丸山遺跡保存活用推進室長、文化財保護課長、企画政策部理事などをつとめ、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録を実現する。青森県文化財保護審議会長、日本イコモス理事。『縄文に生きる』(東奥日報社、2023)、『日本の遺跡　改訂版三内丸山遺跡』(同成社、2021)、『世界遺産になった！縄文遺跡』(同成社、2021)など著書・論文等多数。

青森県私立学校活動紹介

※プログラム内容は変更する場合があります。

「吹奏楽演奏」　　青森山田中学高等学校吹奏楽部

青森山田中学高等学校

【建学の精神】

本学園の建学の精神は、「若人に夢を託して ―実戦的な能力を持つ人材の育成を通じて、地域社会に貢献すること―」です。また、校訓として「誠実、勤勉、純潔、明朗」を掲げ、地域の教育機関として人格陶冶（人格の育成）を重視した教育活動を行っています。個性を伸ばし、自らの力で未来を切り拓く力や、社会で自立・貢献できる人材育成を教育目標に掲げ、多様性を認め合い、主体的に課題解決できる力の育成に力を入れています。

【特色】

個性や目的に合わせて選べる多彩な学科及び専攻コースがあるのが本校の大きな特徴です。また、全国レベルで活躍する実力ある運動部、文化部が揃っています。文武両道を掲げ、雪国特有の厳しい環境で培った精神力と、資格取得や進路サポートに実績を持つ私立高校です。

【吹奏楽部】

本校吹奏楽部は、昭和 32 年に故木村隆文先生（前青森山田学園理事長）が自ら有志 4 名を募り創部し、以来約 70 年の演奏活動を続けております。活動内容は、校内行事での演奏、コンクール、アンサンブルコンテスト、ソロコンテスト、県内小・中学校や養護学校及び各種施設への訪問演奏、県内外での各種セレモニーやイベントでの演奏、そして年間をとおして各地で開催する「SMILE 大作戦!!」、「サンクスコンサート」、1 年間の活動の集大成を発表する定期演奏会「北の街コンサート」等、年間約 50 回の演奏活動をおこなっております。近年では吹奏楽コンクール東北大会へは 25 年連続出場、アンサンブルコンテスト東北大会では 5 大会連続金賞受賞、全日本高等学校吹奏楽大会へは 8 大会連続出場し連盟会長賞 1 回、連盟理事長賞 3 回受賞、日本管弦打楽器ソロコンテスト全国大会へ 2 年連続出場など着実に実績を積み重ねています。今年 4 月には愛知県刈谷市で開催された日本管楽合奏指揮者会議 JWECC2026 へ出演し、日本を代表する指揮者や演奏家の皆さまから高い評価を得ました。

～いちばん大切なこと、笑顔になってもらうこと～

一期一会を大切にして、いつも皆様と一緒に笑顔になれるような演奏を目指しています。

1　私学経営部会

研究目標

私学の魅力向上と効果的発信を考える

少子化の加速による人口減少、特に生産年齢人口が減少し続ける日本において、業種・企業規模に関わらず有望人材の獲得競争が激化している。教育界においても時間外勤務や部活動指導などの負荷、多様な生徒や保護者等の対応等ハードワークという風評から教職離れが続いている。

当部会では、私立学校における魅力を最大限に発信し、地域社会の発展に貢献する人材を育成する使命を担うための重要な役割を果たす意欲ある教師の獲得と育成の方策を模索したい。

1　募集人員　　１００名

2　会　　場　　アートホテル弘前シティ

3　参加対象　　理事長、校長、副校長・教頭、事務局長、事務長またはこれらに準ずる管理職

4　日　　程

時間 / 月日	9 15	10 45	11	12 30	13 30	14	15 30	16
11 月 13 日（金）	開会式	講演Ⅰ		講演Ⅱ	昼　食	パネル・ディスカッション		閉会式

5　内　　容

講 演 Ⅰ

演　題　**りんごの方舟プロジェクト**

講　師　**森　山　　聡　彦**（もりやま　としひこ）　もりやま園株式会社　代表取締役

講 演 Ⅱ

演　題　**教職員の採用、育成、人材マネジメントのバージョンアップに向けて**

講　師　**妹　尾　　昌　俊**（せのお　まさとし）　一般社団法人ライフ＆ワーク　代表理事
OCC 教育テック大学院大学　教授

パネル・ディスカッション

テーマ　**魅力ある私学を効果的に発信するには**

パネリスト	**樋　川**（といかわ）	**新　一**（しんいち）	株式会社樋川自動車　代表取締役 有限会社リンゴミュージック　代表取締役
	里　村（さとむら）	**智　彦**（ともひこ）	（青森県）八戸聖ウルスラ学院中学･高等学校　理事長･校長
	菅　沼（すがぬま）	**宏比古**（ひろひこ）	（長崎県）学校法人西海学園　理事長
コーディネーター	**梅　村**（うめむら）	**光　久**（みつひさ）	（三重県）学校法人三重高等学校　理事長

《講師プロフィール》

森山　聡彦　もりやま園株式会社　代表取締役

青森県弘前市出身。明治より 100 年以上続くりんご園の経営を継承後、ICT・スマート農業の導入による農業経営の抜本的改革を推進。摘果時に廃棄されていた規格外りんご「テキカカ」を原料としたシードル・アップルソーダを開発・販売し、農業の 6 次産業化を実践。2019 年ジャパンシードルアワード大賞、2020 年全国果樹技術・経営コンクール農林水産大臣賞、2022 年経済産業省 DX セレクション審査員特別賞、2025 年 6 次化大賞グランプリなど受賞多数。「マイナスをプラスに変える」経営哲学のもと、「りんごの方舟プロジェクト」を掲げ、青森県りんご産業の持続可能な未来を切り拓く経営者として広く注目を集めている。

妹尾　昌俊　一般社団法人ライフ＆ワーク 代表理事
OCC 教育テック大学院大学 教授

徳島県出身。野村総合研究所を経て、2016 年から独立。文科省での講演のほか全国各地の管理職研修、教員研修、事務職員研修、保護者向けの講演、教育委員会等のアドバイザーなどを手がけている。現在、12 冊の本を出版（『学校をアップデートする思考法』、『校長先生、教頭先生、そのお悩み解決できます！』など）。月刊教職研修、東洋経済オンライン等へ寄稿も多数。

学校業務改善アドバイザー（文科省委嘱のほか、埼玉県、横浜市、熊本県等）、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、「質の高い教師の確保特別部会」委員、スポーツ庁、文化庁において部活動のあり方に関するガイドラインをつくる有識者会議の委員も務めた。

2025 年 4 月からは社会人向けフルオンライン大学院の教授も兼務。

樋川　新一　株式会社樋川自動車　代表取締役
有限会社リンゴミュージック　代表取締役

1970 年弘前市生まれ。弘前高校－法政大学経営学部卒業後、日産自動車㈱・国内営業本部へ入社し 、国内ディーラー各社の財務分析を担当 。U ターン後、家業の自動車会社を継ぐが、地元弘前の元気のなさに一念発起し､有志と共に地方活性化を目的とした全国でも類のない、月謝無料の芸能スクール｢弘前アクターズスクールプロジェクト｣ を設立。地方アイドルの先駆けとなる『りんご娘』をプロデュース。2010 年､SBI 大学院大学にて MBA 取得。2012 年、弘前市企画制作の短編映画「りんごのうかの少女｣をプロデュース。りんご娘の代表曲「トレイン」「だびょん」「101 回目の桜」「りんごに恋したマメコバチ」、アルプスおとめ「ニジイロリンゴ」、ライスボール「掌」「命」などを作詞・作曲。

２　教育課程部会

研究目標

生成 AI と協働する学びの革新

生成 AI の急速な進歩により、教育課程の根本的な見直しが求められている。知識伝達型から生徒主体の創造的な学びへの転換が必要な今、各教科・科目における生成 AI 活用と教科横断的な探究学習の融合から得られる新たな可能性を探る。

当部会では、生成 AI を効果的に組み込んだカリキュラム設計と授業実践に焦点を当て、未来の社会の担い手を育成するための私学教育の独自性を活かした教育課程の構築の方向性を探究したい。

１　募集人員　　１００名

２　会　　場　　アートホテル弘前シティ

３　参加対象　　理事長、校長、副校長・教頭、教務主任及び教員

４　日　　程

時間 / 月日	9 15	10 45	11	12	13	14 30	15 45	16
11 月 13 日（金）	開会式	講演Ⅰ	実践発表Ⅰ	昼食	講演Ⅱ		実践発表Ⅱ	閉会式

５　内　　容

講 演 Ⅰ

演　題　**生成 AI を学校教育で活用しようとするときに大切になる視点**

講　師　**小　﨑（こざき）　誠　二（せいじ）**　奈良教育大学大学院教育学研究科　教授
奈良市教育委員会　参与兼教育 CIO 補佐官
文部科学省　学校 DX 戦略アドバイザー

講 演 Ⅱ

演　題　**生成 AI 時代の学びをデザインする―授業・評価・カリキュラムの再編成**

講　師　**野　中（のなか）　潤（じゅん）**　都留文科大学　教授

実践発表 Ⅰ

テーマ　**AI 時代の教育課程設計～生成 AI との共創による学びの深化～**

発表者　**井　上**（いのうえ）　**嘉名芽**（かなめ）　（青森県）東奥義塾中学校・高等学校　塾長

実践発表 Ⅱ

テーマ　**生成 AI と協働する私学地歴公民の学習環境デザイン**
―生徒と教員の双方にとって有益な授業を求めて―

発表者　**清　水**（しみず）　**亮**（りょう）　（青森県）八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校　教諭

《講師プロフィール》

小﨑　誠二　奈良教育大学大学院教育学研究科　教授
奈良市教育委員会　参与兼教育 CIO 補佐官
文部科学省　学校 DX 戦略アドバイザー

1988～2006　奈良県立高等学校教諭（国語科・情報科）
2007～2023　奈良県教育委員会学校教育課指導主事・教育研究所主幹等
2021～現在　奈良教育大学大学院　教授
2024～現在　奈良市教育 CIO 補佐官
2026～現在　奈良市教育委員会参与（DX・AI 担当）
・文部科学省 学校 DX 戦略アドバイザー
・文部科学省 生成 AI の校務での活用に関する実証研究事業座長
・デジタル庁 教育分野の認証基盤の在り方に関する検討会委員
・著作物の教育利用に関する関係者フォーラム 初等中等教育ワーキンググループ委員

野中　潤　都留文科大学　教授

1962（昭和 37）年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。神奈川県立湘南高校を経て、1985（昭和 60）年東京学芸大学卒業。1988（昭和 63）年同大学院修士課程修了。
1988 年 4 月から 2016 年 3 月まで、（神奈川県）聖光学院中学高等学校教諭。
2016 年 4 月、都留文科大学准教授に着任。
2018 年 4 月から都留文科大学教授。
同大学の附属図書館長、情報センター長、語学教育センター長を歴任。現在は同大学教職支援センター長。

３　法人管理事務運営部会

研究目標

より良い私学運営を追求する労務管理

教育管理職や事務管理職が正しく法的制度を理解し、労務環境を整備していくことは喫緊の課題である私学における働き方改革を一気に推進するきっかけになるだろう。また、魅力ある労務環境は深刻化する教員不足問題に対しても大きな一手となりえる。

当部会では、「私学における労務環境整備」に焦点を置き、専門家による講演と実践発表、研究討議等のプログラムを通して、それぞれの課題等を共有し、魅力ある私学の労務環境整備について考察する場としたい。

１　募集人員　　１００名

２　会　　場　　アートホテル弘前シティ

３　参加対象　　理事長、校長、副校長・教頭、事務局長、事務長または
これらに準ずる管理職及び事務担当教職員

４　日　　程

時間 / 月日	9 15	10 45	11	12 30	13 30	14 30	45	15 45	16
11 月 13 日（金）	開会式	講演Ⅰ	講演Ⅱ	昼食	実践発表		研究協議	閉会式	

５　内　　容

講 演 Ⅰ

演　題　**職業としての教師の労働を職場としての私立学校でいかに管理するか**

講　師　**青　木　栄　一**（あおき　えいいち）　東北大学大学院教育学研究科・教育学部　教授

講 演 Ⅱ

演　題　**全部大切。法令遵守・働き甲斐の提供・相応しい処遇・ノーハラスメント**

講　師　**川　村　啓　之**（かわむら　ひろゆき）　川村啓之社会保険労務士事務所　代表

実践発表

テーマ　**私立学校における働きやすい職場環境とは**

発表者　**赤　司　　展　子**（あかし　のぶこ）　（京都府）京都先端科学大学附属中学校高等学校　校長

研究協議

●参加者主体の情報交換

講演･実践発表をもとに参加者を小グループに分け、労務管理等について意見交換を行う。

コーディネーター　法人管理事務運営部会運営委員（青森県）

《講師プロフィール》

青木　栄一　東北大学大学院教育学研究科・教育学部　教授

千葉県生まれ。東京大学教育学部卒業、同大学大学院教育学研究科博士課程修了。博士（教育学）。2010 年 4 月より東北大学大学院教育学研究科にて教育行政学担当教員として勤務し、2021 年度より現職。この間、コロンビア大学、オックスフォード大学、台湾師範大学で客員研究員。中央教育審議会臨時委員、文部科学省初等中等教育局高等学校等教育改革促進基金等の推進等に係る有識者会議座長、文部科学省初等中等教育局高等学校教育の振興に関する懇談会委員など。専門は教育行政学、行政学、地方自治論、公共政策論。国・自治体の教育政策動向を踏まえ、学校・教育委員会の組織運営や働き方改革を理論と実践の両面から研究。全国の管理職研修での講演も多数。

川村　啓之　川村啓之社会保険労務士事務所　代表

1971 年、横浜市生まれ、青森県津軽育ち。青森県立弘前高等学校卒業、東京大学文科Ⅰ類中退。地元の中堅食品小売業に入社。鮮魚、経理、経営企画部門を担当後、人事課長として、総務人事業務全般を統括。主に労務管理、人事評価、社員教育、新卒・中途採用企画運営にあたり、その後退職。2005 年、社会保険労務士試験合格、弘前市にて川村啓之社会保険労務士事務所を開業。2009 年、経営コンサルティング会社「株式会社アシストパートナー・ヒロ」を設立し、代表取締役に就任。2012 年、弘前大学大学院人文社会科学研究科修士課程卒業。行政機関や各種団体の講演実績も多数あり、わかりやすいと好評を得ている。

４　生徒指導部会

研究目標

多様な背景を持つ子どもたちへの教育支援を考える

生徒を取りまく社会環境や家庭状況が目まぐるしく変化している。それに伴い、生徒個々の発達課題も多様化、複雑化し、従来の対応だけでは不十分な面が見られる。様々な背景を持つ生徒に寄り添い支援することで生徒一人ひとりが個性を伸ばし、主体的に成長できる学習環境が求められている。

当部会では、多様化する生徒へ必要な支援を早期発見、早期対応できる生徒指導のあり方を考えていく。

１　募集人員　　５０名

２　会　　場　　弘前パークホテル

３　参加対象　　理事長、校長、副校長・教頭、生徒指導担当等教員

４　日　　程

時間 / 月日	9 15	10 25	35	11 45	12 45	13 45	14	15 30	16
11 月 13 日（金）	開会式	講演Ⅰ		講演Ⅱ	昼食	講演Ⅲ		研究協議	閉会式

５　内　　容

講 演 Ⅰ

演　題　**『生徒指導提要』に基づく令和の知識基盤型生徒指導の要点**

講　師　**八　並　　光　俊**（やつなみ　みつとし）　東京理科大学教育支援機構教職教育センター　教授

講 演 Ⅱ

演　題　**子どもの抱える社会経済的困難と生徒指導～子どもの権利と外部連携～**

講　師　**吉　田　　美　穂**（よしだ　みほ）　弘前大学大学院教育研究科　教育実践専攻長・教授

講 演 Ⅲ

演　題　**プロアクティブな「生徒指導」―自分を舵取りできる生徒を育む―**

講　師　**バーンズ 亀山 静子**（かめやましずこ）　ニューヨーク日本人教育審議会・教育相談室

研究協議

●参加者主体の情報交換

各講演をもとに参加者を小グループに分け、意見交換を行う。

《講師プロフィール》

八並　光俊　東京理科大学教育支援機構教職教育センター　教授

専門は、生徒指導・スクールカウンセリング。東京理科大学名誉教授、国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター客員研究員、学術団体日本生徒指導学会会長、日本スクールカウンセリング推進協議会副理事長・学校心理士認定運営機構理事。文部科学省中央教育審議会ならびに国いじめ防止対策協議会委員、こども家庭庁いじめ調査アドバイザー。

吉田　美穂　弘前大学大学院教育研究科　教育実践専攻長・教授

神奈川県立高校で教員を務める傍ら、社会経済的背景によって、学びの場から排除されやすい子どもの教育支援をテーマに研究に従事。

2017 年に弘前大学着任、青森県内の福祉関係者・教育関係者と共に弘前大学「子どもの貧困」をめぐる協働プロジェクトを立ち上げ、2026 年に『青森に生きる子どもの困難とウェルビーイング―貧困・ヤングケアラーの実態と地域がつくる支援ネットワーク』（弘前大学出版会）を上梓。多文化多言語の子どもの教育支援についても研究。

NITS 弘前大学センター長、NPO 法人ひろだい多文化リソースルーム理事長、文部科学省・外国人児童生徒の教育の充実に関する有識者会議委員、青森県子どもの貧困対策等推進委員会委員。

バーンズ 亀山 静子　ニューヨーク日本人教育審議会・教育相談室

米国ニューヨーク州認定スクールサイコロジスト。現地の教育委員会を通じ、幼稚園から高校まで現地校・日本人学校を問わず家庭で日本語で話す子どもの発達・教育・適応に関しての仕事（心理教育アセスメント、学校のスタッフや保護者へのコンサルテーション、子どもの指導やカウンセリング等）に携わる。ニュージャージー日本人学校、ニューヨーク補習授業校のSC。日本では、北海道教育大学未来の教育協創研究センターUDL ラボ共同研究員、特別支援教育士スーパーバイザー、文科省在外教育アドバイザー。この 20 年ほどは UDL（学びのユニバーサルデザイン）の日本での普及に熱意を注いできた。訳書「UDL：学びのユニバーサルデザイン」（東洋館出版）、UDL ガイドラインの翻訳　他

５　進路指導部会

研究目標

私学教育における社会の創り手の育成
～地域と共に学び、支え合い、幸せを育む～

近年、全国規模で少子化が加速し、地方にとってはかつてない人口減少に繋がっている。併せて若年者が県外へ流出し、地元の企業への就職者数や大学への進学者数が減少している。
当部会では私学教育において地域密着型をはかり、地域との交流やボランティア活動を通して、子ども達の進路の選択肢を広げる指導のあり方を模索したい。

１　募集人員　　５０名

２　会　　場　　弘前パークホテル

３　参加対象　　理事長、校長、副校長・教頭、進路指導担当等教員

４　日　　程

時間 / 月日	9 15	10 45	11	12 15	13 15	14	15 30	16
11 月 13 日（金）	開会式	講演Ⅰ		講演Ⅱ	昼食	講演Ⅲ･ワークショップ		閉会式

５　内　　容

講 演 Ⅰ

演　題　**地域社会と連携したキャリア教育～私学の強みを生かしたカリキュラム・マネジメントとは～**

講　師　**成　田（なりた）　昌　造（しょうぞう）**　青森中央学院大学　教授

講 演 Ⅱ

演　題　**明日のために木を植える**

講　師　**髙　橋（たかはし）　哲　史（さとし）**　株式会社百姓堂本舗(弘前シードル工房kimori)　代表取締役社長

講 演 Ⅲ・ワークショップ

演　題　**地域の魅力・発見＆発信　～その先に広がる可能性を信じて～**

講　師　**菅　原（すがはら）　伊佐雄（いさお）**　青森ファイナンシャルアカデミー　代表理事

《講師プロフィール》

成田　昌造　青森中央学院大学　教授

弘前大学人文学部卒業。大蔵省(現財務省)東北財務局から青森県立高校社会科教員に転職。その後青森県教育委員会において社会教育行政・学校教育行政（小中高及び特別支援学校）に従事。県立高校の管理職を経て、2018 年から青森中央学院大学経営法学部教授として主に教職課程を担当。また県や県内各市の審議会・委員会の委員等を務めている。専門は学校教育学で、「いじめ・不登校」「キャリア教育」「探究学習の指導法」を研究テーマとしている。

髙橋　哲史　株式会社百姓堂本舗（弘前シードル工房 kimori）　代表取締役社長

1973 年青森県弘前市生まれ。1995 年日本映画学校卒業後、民放、NHK などのテレビ番組を中心とした映像制作に携わる。2002 年に U ターン就農。

2014 年には弘前市りんご公園内に弘前シードル工房 kimori をオープン。畑のなかの小さな醸造所でりんごの果実酒・シードル作りを行っているかたわら、2018 年からは、りんごの担い手育成の場として kimori キャンパスをオープン。非農家出身の未来のりんご農家育成事業を行っている。

菅原　伊佐雄　特定非営利活動法人青森ファイナンシャル･アカデミー　代表理事

秋田県潟上市出身、弘前大学卒。ビジネス系専門学校の教務部長等を経て独立。青森を拠点に、東北各地の自治体や教育機関、企業で講演・研修を行う。キャリアコンサルタント及び FP として、金融経済教育とキャリア形成を融合させ「生きる力」の向上に尽力。2016 年には金融庁・日本銀行から「金融知識普及功績者」として表彰される。

元社交ダンス東北チャンピオンの顔も持つ。現在は旅や趣味を通じ、自らを用いて「人生の持続可能性」を模索する社会実験中。地域の魅力を発見・発信し続けることで、教育現場から子供たちの明るい未来とその先に広がる可能性を切り拓く活動を続けている。

運営委員・専門委員一覧（順不同）

全体集会

●運営委員・指導員

委員長	木　下　保　樹	下山学園高等学校　校長
副委員長	小野寺　　仁	弘前学院聖愛高等学校　副校長
委員	池　田　　茂	弘前学院聖愛中学校　副校長
	櫻　田　真　也	弘前学院聖愛高等学校　教諭
	玉　田　麻　実	柴田学園大学附属柴田学園高等学校　教諭
	北　谷　友　映	柴田学園大学附属柴田学園高等学校　教諭
	三　上　可　奈	弘前学院聖愛中学高等学校　事務職員
	八　木　祥　子	弘前学院聖愛中学高等学校　養護教諭
	中　村　元　気	東奥義塾中学校･高等学校　養護教諭

私学経営部会

●運営委員・指導員

委員長	葛　西　由起子	五所川原第一高等学校　校長
副委員長	山　道　昌　紀	五所川原第一高等学校　教頭
委員	成　田　法　顕	五所川原第一高等学校　教諭
	苫米地　太　郎	五所川原第一高等学校　教諭
	片　岡　　勝	下山学園高等学校　教頭
	山　谷　浩　子	下山学園高等学校　教諭

●私学経営専門委員・指導員

委員長	長　塚　篤　夫	北里大学附属順天中学高等学校　校長
副委員長	鈴　木　康　之	水戸女子高等学校　理事長・校長
委員	西　岡　憲　廣	札幌山の手高等学校　理事長・校長
	近　藤　彰　郎	八雲学園中学高等学校　理事長・校長
	山　本　与志春	学校法人青山学院　理事長
	嵯　峨　実　允	学校法人藤華学院　理事長
	梅　村　光　久	学校法人三重高等学校　理事長
	摺　河　祐　彦	姫路女学院中学高等学校　理事長・校長
	大多和　聡　宏	学校法人大多和学園　理事長
	菅　沼　宏比古	学校法人西海学園　理事長

教育課程部会

●運営委員・指導員

委員長	井　上　嘉名芽	東奥義塾中学校･高等学校　塾長
副委員長	中　田　　賢	東奥義塾中学校･高等学校　教頭
委員	神　　朋　宏	東奥義塾高等学校　教諭
	川　村　建　吾	東奥義塾中学校　教諭
	古　川　奈津子	弘前東高等学校　教諭
	熊　谷　勇　気	弘前東高等学校　教諭

●教育課程専門委員・指導員

委員長	森　　涼	学校法人石川高等学校・石川義塾中学校　理事長・校長
委員	大　羽　　聡	千葉英和高等学校　理事長・校長
	松　谷　　茂	学校法人文化杉並学園　理事長
	鈴　木　　弘	学校法人香蘭女学校　理事長
	齋　藤　眞　人	立花高等学校　校長

法人管理事務運営部会

●運営委員・指導員

委員長	木　下　保　樹	下山学園高等学校　校長
副委員長	工　藤　智　博	下山学園高等学校　副校長
委員	野　宮　大　嗣	下山学園高等学校　教頭
	野　呂　拓　矢	下山学園高等学校　教諭
	柏　崎　健太郎	五所川原第一高等学校　教頭
	佐　藤　大　輔	五所川原第一高等学校　教諭

●法人管理事務運営専門委員・指導員

委員長	工　藤　誠　一	聖光学院中学高等学校　理事長･校長
委員	服　部　泰　啓	学校法人信愛学園　理事長
	摺　河　祐　彦	姫路女学院中学高等学校　理事長･校長
	川　島　英　和	学校法人川島学園　理事長
	野　尻　富太郎	学校法人東京女学館　理事･法人事務局長

生徒指導部会

●運営委員・指導員

委員長	芦　野　佐由利	柴田学園大学附属柴田学園高等学校　校長
副委員長	山　内　直　樹	柴田学園大学附属柴田学園高等学校　教頭
委員	芹　川　　巧	柴田学園大学附属柴田学園高等学校　教諭
	齋　藤　敬　一	柴田学園大学附属柴田学園高等学校　教諭
	三　浦　弘　嗣	弘前学院聖愛高等学校　教諭
	菊　地　あずみ	弘前学院聖愛高等学校　教諭

進路指導部会

●運営委員・指導員

委員長	虻　川　昭　吾	弘前東高等学校　校長
副委員長	村　上　孝　行	弘前東高等学校　教頭
委員	鳥谷部　通　寛	弘前東高等学校　教諭
	福　原　直　樹	弘前東高等学校　教諭
	佐　藤　　陽	東奥義塾高等学校　教諭
	福　原　聖　司	東奥義塾高等学校　教諭

参加（大会・教育懇談会）申込みと参加費の納入について

大会参加申込みについて

本研修会への参加は、以下のいずれかの方法で10月23日（金）〔必着〕までにお申し込み下さい。

★手続きがスムーズなオンラインフォームのご利用をお勧めしております。

１．オンラインフォームによるお申し込み（推奨）

・お手持ちのスマートフォンやPCから以下のURLまたはQRコードにアクセスし、必要事項を入力して送信して下さい。

オンラインフォーム https://shigaku.movabletype.io/r8aomori.html

２．メールまたはFAXによるお申し込み

・「参加申込書」に必要事項をご記入の上、以下の宛先にお送り下さい。

※メールの場合は「参加申込書」のPDFデータを添付し、件名に「青森大会申込」と記載して下さい。

メール kenshukai@shigaku.or.jp　FAX 03-3222-1683

注①　2日間のご参加を原則としておりますが、やむを得ず全体集会のみに参加する場合は、「全体集会のみ」を選択して下さい。（大会参加費は変わりません。）

注②　部会によっては、募集定員に達した場合、募集を締切ることがありますので、希望する部会は必ず第2希望まで選択して下さい。

注③　申込みが締切日後になる場合は、参加者名簿は追加版への掲載となります。

【大会参加費の納入について】

(1)大会参加費は、お一人 16,000円 です。（11月13日の昼食費が含まれます。）

(2)申込受付後2週間以内に参加者全員分の「参加確認証」「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」を「関係書類送付先」の所属校（法人）宛に郵送します。参加費は「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」で、指定されたコンビニエンスストアで以下のキャンセル期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。

(3)申込後2週間以内に「参加確認証」等が届かない場合は電話でご連絡下さい。

（TEL 03-3222-1621）

教育懇談会参加申込みについて

（大会参加費には教育懇談会費は含まれておりません。）

教育懇談会への参加・不参加については「全国私学教育研究集会青森大会参加申込書」の「教育懇談会」欄でご回答下さい。

【教育懇談会費の納入について】

(1)教育懇談会費は、お一人 10,000円 です。

(2)大会参加確認証等と併せて、教育懇談会参加確認証を郵送します。教育懇談会費は大会参加費と合算して1枚の「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りします。

宿泊の申込み

（大会参加費には宿泊費は含まれておりません。）

「宿泊申込要項」（p.23～26）をお読み頂き、近畿日本ツーリスト株式会社東京私学教育旅行支店にお申込み下さい。

【10月16日（金）17:00締切】

変更・キャンセルについて　（大会及び教育懇談会）

必ずメールまたはFAXにて下記宛にご連絡下さい。

①変更の場合は「参加確認証（再発行）」を郵送します。
②キャンセルの場合は「キャンセル確認書」をメールまたはFAX致します。
注　**メールでのキャンセル連絡の際は、件名「青森大会キャンセル〇名」と記載して下さい。**

キャンセルポリシー	
10月26日（月）まで	事務手数料 1,000円を差し引いた参加費を返金します。
10月27日（火）以降 及び 無断欠席	**返金はできません。**大会資料等の発送をもって代えさせて頂きます。大会参加費・教育懇談会費の未払いの場合は、キャンセル料として全額分(大会参加費 16,000円・教育懇談会費 10,000円)を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますので、ご相談下さい。

個人情報の取り扱いについて

当研究所では、参加者の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入頂く個人情報は、参加確認証及び大会参加のために必要な書類の送付、参加者名簿の作成、当研究所の研修会開催等情報の送付、また何らかの理由で大会の参加者に連絡する必要が生じた場合のみに利用します。

◆（大会・教育懇談会)申込先

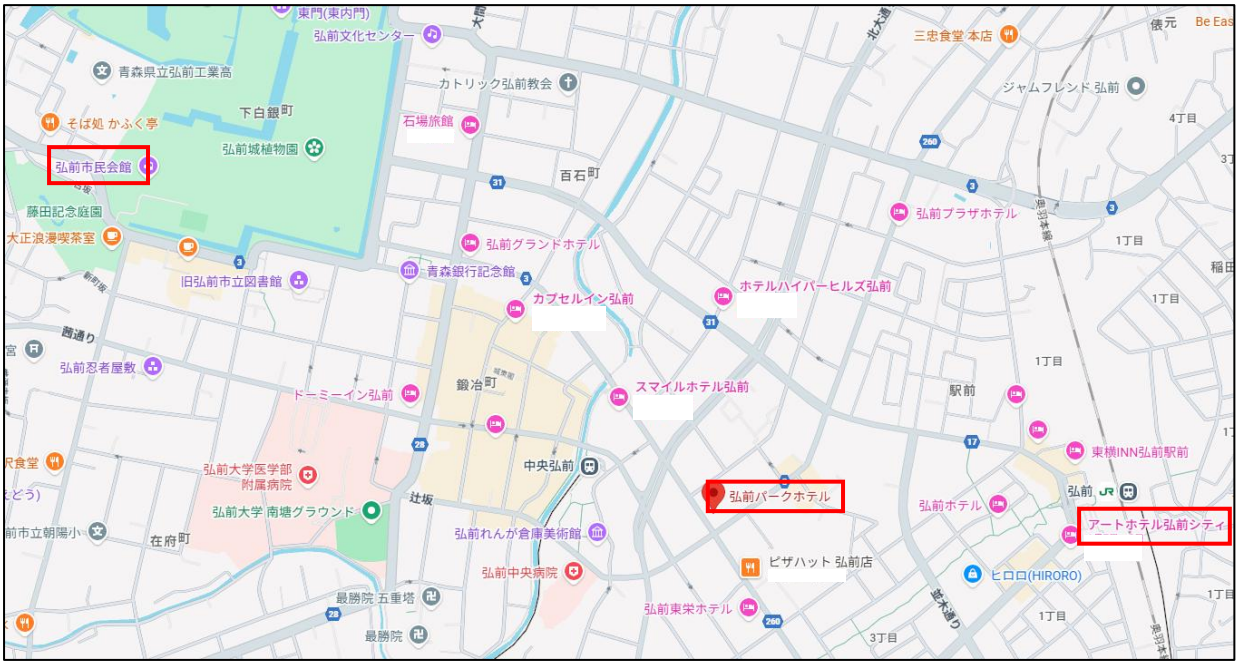
一般財団法人日本私学教育研究所　「全国私学教育研究集会　事務局」

オンラインフォーム https://shigaku.movabletype.io/r8aomori.html

参加申込受付用メールアドレス kenshukai@shigaku.or.jp
※メールでお申込みの際は、「件名」に「青森大会申込」と記入して下さい。

FAX 03-3222-1683　　《申込QRコード》

会場（弘前市民会館／アートホテル弘前シティ／弘前パークホテル）のご案内



★弘前市民会館

〒036-835　青森県弘前市下白銀町 1-6　TEL. 0172-32-3374

◎JR「弘前駅」から車で 15 分

★アートホテル弘前シティ

〒036-8004　青森県弘前市大町 1-1-2　TEL. 0172-37-0700

◎JR「弘前駅」より徒歩約 1 分

★弘前パークホテル

〒036-8182　青森県弘前市土手町 126　TEL.　0172-31-0089

◎JR「弘前駅」より徒歩約 12 分

※【バス】弘前市民会館－弘前駅前（アートホテル弘前シティ前）間のご移動の際、大型バスを手配しております。（約 15 分）

令和８年度全国私学教育研究集会青森大会
宿泊申込要項

この度は、「令和８年度全国私学教育研究集会青森大会」が青森県弘前市にて開催されますことを心よりお喜び申し上げます。
大会の開催にあたり、各地から大会にご参加の皆様方に、宿泊の手配を近畿日本ツーリスト株式会社東京私学教育旅行支店が取扱をさせていただくことになりました。受け入れ態勢には万全を期し、皆様にご満足いただけるようにお手伝いさせていただきます。
つきましては、下記のお申込み要項をご覧いただき、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

近畿日本ツーリスト株式会社
東京私学教育旅行支店

１．宿泊のご案内

近畿日本ツーリスト株式会社東京私学教育旅行支店が旅行企画・実施する「募集型企画旅行」です。

期間中の宿泊ホテルの予約をご希望の方は、以下の予約受付案内を確認いただくとともに、「ご旅行条件書」をご確認いただいたうえで、お申込みください。

お客様の状況によっては、当初の手配内容に含まれていない特別な配慮、措置が必要になる可能性があります。
詳細は、「旅行条件書」の「申込条件」を確認のうえ、特別な配慮・措置が必要となる可能性がある方は、ご相談させていただきますので必ずお申し出ください。

○宿泊対象者　　都道府県の私立中学校・高等学校・中等教育学校の管理職・教職員
○宿泊設定日　　2026 年 11 月 11 日（水）～11 月 13 日（金）宿泊
○宿泊地　　全て弘前市内のホテルです。（ホテルから JR 弘前駅へは徒歩で 1～30 分です）
○日程表

	日程	
スケジュール	１日目	宿泊ホテル（泊）※各自チェックインしてください。
	２日目	宿泊ホテル（発）※各自チェックアウトしてください。

上記は１泊あたりの日程表になります。ご希望に応じて３泊までお受けいたします。
○旅行代金（宿泊プラン）　下記は全て、お１人様１泊あたりの旅行代金です。
○食事回数:1 泊朝食付 （ 朝１回　夕０回 ）・ １泊食事なし　（ 朝０回　夕０回 ）

※1 泊食事なしのホテルは、ホテルより無料の朝食が提供されます。

（宿泊施設一覧表）

申込番号	ホテル名	食事条件	旅行代金（１泊１人あたり）		部屋タイプ（全室バス・トイレ付）
			シングル	ツイン	
1	ドーミーイン弘前 JR 弘前駅から徒歩 30 分	1 泊朝食付	20,000 円	16,700 円 ※2 名利用時	洋室（シングル・ツイン）
2	ホテルルートイン弘前駅前 JR 弘前駅から徒歩３分	1 泊食事なし※	12,300 円	設定なし	洋室（シングル）
3	弘前東栄ホテル JR 弘前駅から徒歩７分	1 泊朝食付	11,200 円	10,100 円 ※2 名利用時	洋室（シングル・ツイン）
4	ホテルルートイン弘前城東 JR弘前駅から徒歩30分	1 泊食事なし※	11,200 円	設定なし	洋室（シングル）
5	東横イン弘前駅前 JR 弘前駅から徒歩１分	1 泊食事なし※	9,550 円	設定なし	洋室（シングル）
6	スマイルホテル弘前 JR弘前駅から徒歩~~1分~~ →15分	1 泊朝食付	11,200 円	設定なし	洋室（シングル）
7	ホテルハイパーヒルズ弘前 JR弘前駅から徒歩10分	1 泊朝食付	9,550 円	7,900 円 ※2 名利用時	洋室（シングル・ツイン）
8	弘前グランドホテル弘前城前 JR弘前駅より徒歩約25分	1 泊朝食付	9,550 円	7,900 円 ※2 名利用時	洋室（シングル・ツイン）

◆7．ホテルハイパーヒルズ弘前　・　8．弘前グランドホテル弘前城前　が追加となりました。（6 月 11 日付）
◎既にお申込の場合でも、10 月 16 日(金)までマイページ・メール・FAX にて変更が可能です。

一般財団法人日本私学教育研究所 ホームページ　https://www.shigaku.or.jp/

◆２泊以上をご希望の場合には、泊数に応じた旅行代金が必要となります。
◆最少催行人員：１名
◆添乗員　同行しません。
◆旅行代金に含まれるもの：①宿泊代金 ②朝食代（朝食付プランの場合）③消費税等諸税・サービス料
④宿泊税（１名様につき１泊 200 円）
◆旅行代金に含まれないもの：上記以外は旅行代金に含まれませんが、その一部を例示します。
●個人的性格の費用：①飲料代・クリーニング代・電話代など、②傷害、疾病に関する医療費、③任意の旅行傷害保険代
◆お申込みの際には第３希望までご記入ください。
◆お部屋は全て定員ベースでの配宿になります。
◆禁煙・喫煙部屋等のリクエストはご希望にて承りますが、ご希望に添えない場合もございます。
◆一部宿泊施設または近隣に駐車場がございますが予約手配・精算はお客様自身でお願いいたします。

2. お申込み方法・回答とお支払い方法

１．宿泊のお申込み方法とお支払いのご案内

① お申込締切：**2026 年 10 月 16 日（金）17:00** までにお願いいたします。

② **【WEB フォームにてお申込みの場合】**
下記の URL または二次元コードよりお申込みください。

WEB フォーム https://gtc2.knt.co.jp/kntfront/convention/CON00010.xhtml?t=T2000638202
WEB フォームにてお申込み後、ご登録メールアドレスに予約受付完了メールが届きます。
メールが届かない場合は、迷惑メール等もご確認いただいた上で、下記問い合わせ先へご連絡をお願いします。
※WEB フォームでのお申込みが難しい場合は、FAX またはメールも可能です。

【FAX でのお申込みの場合】
別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX（03-6685-9566）でお申込みください。
※上記 WEB フォームに Excel が添付されておりますので、ダウンロードいただき、FAX していただくことも可能です。
後日 FAX 受信のご連絡をいたします。

【メールでのお申込みの場合】
別紙の申込書に記載の二次元コードまたは、WEB フォームのエクセルファイルをダウンロード後、必要事項をご入力の上、E メール（ecc-meeting013501@or.kntct.com）でお申込みください。
後日メール受信のご連絡をいたします。

③ お支払いについては、クレジット決済または口座振込となります。
WEB フォームからお申込みの場合、１０月２１日(水)を目途に宿泊先決定通知書をメールいたしますので、マイページの URL よりクレジット決済をお願いします。
口座振込をご希望の場合は、指定口座または下記の指定口座へお振込みください。
FAX またはメールにてお申込みの場合、１０月２１日(水)を目途に、宿泊先決定通知書及び振込案内を FAX またはメールで送信いたしますので、下記指定口座へお振込みください。

④ 旅行代金は、１０月２７日（火）までに **マイページよりクレジット決済** または **指定口座**にお振込みください。
※振込手数料は、お客様のご負担にてお願い申し上げます。

領収書は、原則として支払い記録及び振込票を持って代えさせていただきます。
領収証をご希望の際は、別紙領収証発行依頼書（エクセルファイル）をダウンロードいただき、メールにてご依頼ください。

お客様との旅行契約の成立時期は、当社が契約の締結を承諾し、旅行代金のお支払いが完了した時点となります。

２．お振込先

銀行名：三井住友銀行　支店名：ひなぎく支店　口座番号：（普）２８９０１００
口座名：近畿日本ツーリスト株式会社　（ｷﾝｷﾆｯﾎﾟﾝﾂｰﾘｽﾄ　ｶﾌﾞｼｷｶﾞｲｼｬ）

3. 変更・取消料について

お客様のご都合により変更・取消される場合は、旅行代金に下記の取消料率を乗じて算出した取消料を申し受けます。
返金額が生じた場合には、大会終了後に精算させていただきます。

お申込後の宿泊人数等の変更は、WEB フォームからお申し込みの場合、予約受付完了メールに記載されたマイページの URL より 2026 年 10 月 16 日（金）までに修正をおねがいいたします。
2026 年 10 月 17 日（土）以降の変更・取消をご希望の場合は、FAX またはメールにてご連絡をお願いします。
FAX またはメールにてお申し込みの場合、申込時の宿泊申込書に、変更点が分かるように上書きをし、必ず FAX またはメールで再送をお願いいたします。
※お電話での変更・取消は、聞き間違い等のトラブルの原因になりお受けできかねますので、ご遠慮ください。
※原則として電話による変更・取消はできませんのでご了承ください。（営業時間外の申出は翌営業日の取り扱いとなります。）

取消日	旅行開始日の前日から起算してさかのぼって		旅行開始日の前日	旅行開始日の当日（旅行開始前）	旅行開始後又は無連絡不参加
	20 日目～8 日目までの取消	7 日目～2 日目までの取消			
取消料	旅行代金の 20%	旅行代金の 30%	旅行代金の 40%	旅行代金の 50%	旅行代金の 100%

※宿泊の取消料については 1 泊目から起算します。旅行開始後、2 泊目以降の取消料は旅行代金の 100%となります。
※お客様が、宿泊当日の 17 時までにご連絡がなく宿泊されなかった場合、無連絡不参加として扱わせていただきます。
（この場合、旅行代金の返金はありません。）

4. 旅行企画・実施・お申込み・お問合せ

観光庁長官登録旅行業第 2053 号　一般社団法人日本旅行業協会正会員

近畿日本ツーリスト株式会社
東京私学教育旅行支店
『令和 8 年度全国私学教育研究集会青森大会』係

旅行業公正取引協議会会員

〒102-0074
東京都千代田区九段南 2-3-14　靖国九段南ビル 7 階
電話：03-6685-9560　FAX：03-6685-9566
E メール：ecc-meeting013501@or.kntct.com
営業時間：月～金曜日　/　10:00～17:00（土曜・日曜・祝日は休み）
※休業日と営業時間外の取消・変更のお申出には対応ができませんので、翌営業日の受付となります。
担当：坂田、中田、野沢

旅行業公正取引協議会会員　ボンド保証会員

総合旅行業務取扱管理者：中野　知幸
総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。このご旅行の契約に関し担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者に質問ください。

【個人情報のお取扱いについて】
今回の旅行の手配に際し、ご登録頂いた皆様の個人情報に関しましては、今回の受付の業務上あるいは各種手配に必要な場合のみの利用とし、近畿日本ツーリスト株式会社　東京私学教育旅行支店がその他の目的で利用することはございません。個人情報の管理には万全の体制で臨んでおります。
近畿日本ツーリスト株式会社の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページをご覧下さい。
●近畿日本ツーリスト個人情報保護方針：https://www.knt.co.jp/privacy/web/
■個人情報管理者：中野　知幸

（旅行条件算出基準日　2026 年　4 月 3 日）

登録番号 6044-2604-0016

ご旅行条件書（国内旅行）

■お申し込み

(1)申込書に必要事項を記入の上、ご提出ください。当社が定める所定の期日までに参加申込金を所定の方法でお支払いください。
＊申込金は、「旅行代金」「取消料」「違約料」のそれぞれ一部または全部として取扱います。

(2)電話、郵便、ファクシミリ、インターネットその他の通信手段にてご予約の場合、当社が予約を承諾した日の翌日から起算して3営業日以内に申込書の提出と申込金のお支払いが必要です。申込金のお支払いがない場合、予約がなかったものとして取り扱います。(キャンセルされる場合はご連絡をお願いいたします)

■ウェイティングの取扱いについての特約

お申込みの時点において、満室、満席その他の理由で旅行契約の締結が直ちにできない場合、当社はその旨を説明し、お客さまの承諾を得て、お客さまが「取消待ち」状態でお待ちいただける期限を確認し、予約可能に向けて努力することがあります。(以下「ウェイティング登録」といいます。)その際、「申込書」の提出及び申込金と同額を「預り金」として申し受けます。当社は予約が完了した場合速やかにその旨を通知します。その時点で契約の成立となり、「預り金」を「申込金」として取り扱います。但し、当社がその予約可能通知の前にお客さまから「ウェイティング登録」の解除の申出があった場合、又はお待ちいただける期限までに結果として予約が不可能な場合は当社は「預り金」を全額払戻します。なお、「ウェイティング登録」は予約の完了を保証するものではありません。

■申込条件

(1)参加にあたって特別の条件を定めた旅行については、ご参加の方の性別、年齢、資格、技能、その他の条件が当社の指定する条件に合致しない場合、ご参加をお断りする場合があります。

(2)健康を害している方、車椅子などの器具をご利用になっている方や心身に障がいのある方、食物又は動物アレルギーのある方、妊娠中の方、妊娠の可能性のある方、身体障害者補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）をお連れの方その他特別の配慮を必要とする方は、お申込み時に参加にあたり特別な配慮が必要となる旨をお申し出ください。(旅行契約成立後にこれらの状態になった場合も直ちにお申し出ください。)あらためて当社からご案内申し上げますので旅行中に必要となる措置の内容を具体的にお申し出ください。当社は、可能かつ合理的な範囲内でこれに応じます。これに際して、お客さまの状況及び必要とされる措置についてお伺いし、又は書面でそれらを申し出ていただくことがあります。

(3)当社は、旅行の安全かつ円滑な実施のために介助者又は同伴者の同行、医師の診断書の提出、コースの一部内容を変更すること等を条件とすることがあります。また、お客さまからお申し出いただいた措置を手配することができない場合は旅行契約のお申し込みをお断りし、又は解除させていただくことがあります。なお、お客さまからのお申し出に基づき、当社がお客さまのために講じた特別な措置に要する費用は原則としてお客さまの負担とします。

(4)当社は、旅行中のお客さまが疾病、傷害等により、保護を要する状態にあると認めたときは、必要な措置を講ずることがあります。この場合において、これが当社の責に帰すべき事由によるものではないときは、当該措置に要した費用はお客さまの負担とし、お客さまは当該費用を当社が指定する期日までに当社が指定する方法で支払わなければなりません。

(5)18歳未満の方は、親権者の同意書が必要です。15歳未満の方のご参加は、保護者の同行を条件とします。(但し一部のコースを除きます。)

(6)本旅行は近畿日本ツーリスト株式会社が企画・募集し実施する企画旅行で、参加される方は当社と企画旅行契約を結んでいただきます。契約は、当社の承諾と上記申込金の受理をもって成立するものとし、成立日は当社が申込金を受理した日とします。

(7)通信契約により旅行契約の締結を希望されるお客さまとの旅行条件

①当社は、当社が提携するクレジットカード会社(以下「提携会社」といいます)のカード会員(以下「会員」といいます)より、会員の署名なくして旅行代金の一部(申込金)等のお支払いを受けること(以下「通信契約」といいます)を条件に、電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段による旅行契約を締結する場合があります。ただし、当社が提携会社と無署名取扱特約を含む加盟店契約がない等、または業務上の理由等でお受けできない場合もあります。

②通信契約の申込みに際し、会員は申込みをしようとする「企画旅行の名称」「出発日」等に加えて「カード名」「会員番号」「カード有効期限」等を当社にお申し出いただきます。

③通信契約は、当社らが契約の締結を承諾する旨の通知がお客さまに到達した時に成立するものとします。

④通信契約での「カード利用日」は、会員及び当社が企画旅行契約に基づく旅行代金等の支払または払戻債務を履行すべき日とし、前者の場合は契約成立日、後者の場合は契約解除のお申し出のあった日となります。

(8)当社は、お客さまが次の①から④のいずれかに該当したときは、お申込みをお断りすることがあります。

①他の旅行者に迷惑を及ぼし、または団体旅行の円滑な実施を妨げるおそれがあると当社が判断するとき。

②お客さまが暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係者、暴力団関係企業又は総会屋その他の反社会勢力であると認められるとき。

③お客さまが当社に対して暴力的な要求行為、不当な要求行為、取引に関して脅迫的な言動若しくは暴力を用いる行為又はこれらに準じる行為を行ったとき。

④お客さまが風説を流布し、偽計を用い若しくは威力を用いて当社の信用を毀損し若しくは当社の業務を妨害する行為又はこれらに準ずる行為を行ったとき。

(9)その他当社の業務上の都合で、お申込みをお断りすることがあります。

■旅行代金・追加旅行代金

申込金、取消料、変更補償金の計算の基準となる旅行代金は、追加旅行代金を含めた代金をいいます。追加代金とは、①1人部屋追加代金、②延泊による宿泊代金などをいいます。

■確定書面

確定した航空機の便名や宿泊ホテル名などが記載された確定書面は、ご出発の前日までに交付します。ただし、出発の7日前以降にお申込の場合は旅行開始日当日に交付することがあります。なお、交付日以前であってもお問合せいただければ手配状況についてご説明いたします。

■旅行契約内容・代金の変更

(1)当社は天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関等のサービス提供の中止、官公署の命令、当初の運行計画によらない運送サービスの提供その他の当社の関与できない事由が生じた場合、契約内容を変更することがあります。またその変更に伴い旅行代金を変更することがあります。著しい経済情勢の変動により通常予想される程度を大幅に越えて利用する運送機関の運賃・料金の改定があった場合は旅行代金を変更することがあります。増額の場合は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって15日目にあたる日より前にお知らせします。

(2)複数で申し込んだお客さまの一方が契約を解除したために他のお客さまが一人部屋となったときは、契約を解除したお客さまから取消料を申し受けるほか、一人部屋を利用するお客さまから一人部屋追加代金を申し受けます。

■取消料のかかる場合(お客さまによる旅行契約の解除)

お客さまは、下記の取消料を支払って旅行契約を解除することができます。

旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目（日帰り旅行にあっては10日目）から8日目までの取消	旅行代金の 20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目から2日目までの取消	旅行代金の 30%
旅行開始日の前日	旅行代金の 40%
旅行開始日当日（旅行開始前）	旅行代金の 50%
旅行開始後の取消または無連絡不参加の場合	旅行代金全額

①当社の責任とならないローン等の事由によるお取消しの場合も表記取消料をいただきます。

②取消料の対象となる旅行代金とは表記の旅行代金に追加代金を加えた合計額です。

■取消料のかからない場合(お客様による旅行契約の解除)

下記の場合は取消料はいただきません。(一部例示)

①旅行契約内容に重要な変更が行われたとき。重要な変更とは「旅程保証」の項1～9に定める事項をいいます。

②旅行代金が増額された場合。

③当社が確定書面を表記の日までに交付しない場合。

④当社の責に帰すべき事由により、当初の旅行日程通りの実施が不可能となったとき。

■当社による旅行契約の解除

次の場合当社は旅行契約を解除することがあります（一部例示）

①お客様の数が契約書面に記載した最少催行人員に達しなかったとき。この場合旅行開始日の前日から起算してさかのぼって、13日目（日帰り旅行は3日目）に当る日より前に旅行を中止する旨をお客様に通知します。

②旅行代金を期日までにお支払いいただけないとき

③申込条件の不適合

④病気、団体行動への支障その他により旅行の円滑な実施が不可能なとき

⑤お客さまが■申込条件(8)①から④のいずれかに該当することが判明したとき

■当社の責任

当社は当社または手配代行者がお客さまに損害を与えたときは損害を賠償いたします。お荷物に関係する賠償限度額は1人15万円(ただし、当社に故意又は重大な過失がある場合はこの限りではありません。)。また次のような場合は原則として責任を負いません、お客さまが天災地変、戦乱、暴動、運送、宿泊機関等の旅行サービス提供の中止、官公署の命令その他の当社または手配代行者の関与し得ない事由により損害を被ったとき。

■特別補償

当社はお客さまが当旅行参加中に、急激かつ偶然な外来の事故により生命、身体または手荷物に被った一定の損害について、旅行業約款特別補償規程により、死亡補償金として1,500万円、入院見舞金として入院日数により2万円～20万円、通院見舞金として通院日数により1万円～5万円、携行品にかかる損害補償金(15万円を限度)(ただし、一個又は一対についての補償限度は10万円)を支払います。ただし、日程表において、当社の手配による旅行サービスの提供が一切行われない旨が明示された日については、当該日にお客さまが被った損害について補償金が支払われない旨を明示した場合に限り、「当旅行参加中」とはいたしません。

■旅程保証

旅行日程に下記に掲げる変更が生じた場合は、旅行業約款(企画旅行契約の部)の規定によりその変更の内容に応じて旅行代金に下記に定める率を乗じた額の変更補償金を支払います、ただし、一旅行契約について支払われる変更補償金の額は、旅行代金の15%を限度とします。また、一旅行契約についての変更補償金の額が1,000円未満の場合は、変更補償金は支払いません。変更補償金の算定基礎となる旅行代金とは、表記の旅行代金に追加代金を加えた合計額です。

変更補償金の支払いが必要となる変更	1件あたりの率(%)	
	旅行開始前	旅行開始後
1．契約書面に記載した旅行開始日又は旅行終了日の変更	1.5	3.0
2．契約書面に記載した入場する観光地又は観光施設(レストランを含みます。)その他の旅行の目的地の変更	1.0	2.0
3．契約書面に記載した運送機関の等級又は設備のより低い料金のものへの変更(変更後の等級及び設備の料金の合計額が契約書面に記載した等級及び設備のそれを下回った場合に限ります。)	1.0	2.0
4．契約書面に記載した運送機関の種類又は会社名の変更	1.0	2.0
5．契約書面に記載した本邦内の旅行開始地たる空港又は旅行終了地たる空港の異なる便への変更	1.0	2.0
6．契約書面に記載した本邦内と本邦外との間における直行便の乗継便又は経由便への変更	1.0	2.0
7．契約書面に記載した宿泊機関の種類又は名称の変更(当社が宿泊機関の等級を定めている場合であって、変更後の宿泊機関の等級が契約書面に記載した宿泊機関の等級を上回った場合を除きます。)	1.0	2.0
8．契約書面に記載した宿泊機関の客室の種類、設備、景観その他の客室の条件の変更	1.0	2.0
9．前各号に掲げる変更のうち契約書面のツアー・タイトル中に記載があった事項の変更	2.5	5.0

■お客さまの責任

お客さまの故意又は過失により当社が損害を被ったときは、当該お客さまは損害を賠償しなければなりません。お客さまは、当社から提供される情報を活用し、契約書面に記載された旅行者の権利・義務その他企画旅行契約の内容について理解するように努めなければなりません。お客さまは、旅行開始後に、契約書面に記載された旅行サービスについて、記載内容と異なるものと認識したときは、旅行地において速やかに当社、当社の手配代行者又は旅行サービス提供者にその旨を申し出なければなりません。

■お客さまの交替

お客さまは当社が承諾した場合、所定の手数料をお支払いいただくことにより交替することができます。

■事故等のお申出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに最終日程表でお知らせする連絡先にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

■個人情報の取扱いについて　※ＥＵ在住の方はお問い合わせください。

イ．当社およびご旅行をお申込みいただいた受託旅行業者（以下「販売店」）は、旅行申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客さまとの連絡や運送・宿泊機関等の手配のために利用させていただくほか、当社の旅行契約上の責任、事故時の費用等を担保する保険の手続き上必要な範囲内において当該機関等に提供いたします。
また、旅行先でのお客さまのお買物等の便宜のため、お客さまのお名前および搭乗される航空便等に係る個人情報を、電子的方法等で免税店等の事業者に提供いたします。
お申込みいただく際には、これらの個人情報の提供についてお客さまに同意いただくものとします。

ロ．当社は、旅行中に傷病があった場合に備え、お客さまの旅行中の連絡先の方の個人情報をお伺いしています。この個人情報は、お客さまに傷病があった場合で連絡先の方へ連絡の必要があると当社が認めた場合に使用させていただきます。お客さまは、連絡先の方の個人情報を当社に提供することについて連絡先の方の同意を得るものとします。

ハ．当社は当社が保有するお客さまの個人情報を商品開発や商品案内など販売促進活動、お客さまへのご連絡や対応のために、当社グループ企業および販売店と共同利用させていただきます。
当社グループ企業および販売店が共同利用する個人情報は以下のとおりです。
住所、氏名、電話番号、年齢、生年月日、性別、商品購入履歴、メールアドレス

ニ．上記のほか、当社の個人情報の取り扱いに関する方針については、当社の店頭またはホームページでご確認ください。

■募集型企画旅行契約約款について

この条件に定めのない事項は当社旅行業約款(募集型企画旅行契約の部)によります。当社旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求ください。当社旅行業約款は、当社ホームページ http://www.knt.co.jp からもご覧になれます。

当社はいかなる場合も旅行の再実施はいたしません。

この書面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面になります。また旅行契約が成立した場合は、旅行業法第12条5により交付する契約書面の一部になります。

2023年4月1日改定

申込締切日 **令和8年10月16日(金)**

令和8年度 全国私学教育研究集会青森大会 【宿泊申込書】

Excelの申込書は こちらから

近畿日本ツーリスト(株) 東京私学教育旅行支店 御中

別ページ記載の「宿泊の申込についてのご案内」の内容及び旅行手配やお買い物の便宜などの必要な範囲内で運送・宿泊機関等、保険会社への個人情報の提供について同意のうえ、以下の旅行に申し込みます。

お申込

※いずれかをご選択ください。

お申込区分	1:新規 ・ 2:変更 ・ 3:取消	お申込日 (新規)		変更 ・ 取消	
フリガナ				フリガナ	
学校名 (法人)名				代表者氏名	
ご連絡先 メールアドレス		緊急連絡先 (当日の電話番号)	—	—	

ご請求書送付先

請求書送付先	1: 学校 ・2:法人 ・3:その他	※いずれかをご選択ください。		
フリガナ			フリガナ	
送付先名			送付先担当者名	
送付先ご住所	〒 —	都 道 府 県	区 市 郡	
ご連絡先	TEL — —	MAIL		

宿泊者名簿

宿泊先希望 ※1 第1希望: 第2希望: 第3希望:

※1 別ページよりご希望の宿泊先「申込記号」を第3希望まで選び、ご記入下さい。
申込者の中で希望ホテルが異なる場合は「備考欄」にその旨をご記入ください。
※2 宿泊希望日に○を選択してください。

NO	氏名(漢字)	氏名(フリガナ)	性別	宿泊日 ※2 11/11 (水)	11/12 (木)	11/13 (金)	禁煙 / 喫煙 いずれかをご選択ください
例	近畿 太郎	キンキ タロウ	男		○	○	禁煙
1							禁煙 / 喫煙
2							禁煙 / 喫煙
3							禁煙 / 喫煙
4							禁煙 / 喫煙
5							禁煙 / 喫煙
6							禁煙 / 喫煙
7							禁煙 / 喫煙
8							禁煙 / 喫煙
9							禁煙 / 喫煙
10							禁煙 / 喫煙

備考欄

■ご記入漏れがある場合はご連絡先へお電話させていただきますので、予めご了承ください。
■取消・変更をご希望の際はお申し込みいただいた原本に取消・変更内容を記入いただき、FAXにてお送りください。(17:00以降の受信は翌日扱いとさせていただきます。)
■代金振り込みの際の振込明細書を領収書の代わりとさせていただきます。
大会終了後に領収証を発行いたしますので、「領収証発行依頼書」にご記入の上、メールにてご連絡をお願いします。
■この宿泊申込書はご旅行終了まで控えとして必ず保管ください。
■11名以上の申込の場合は本用紙をコピーしてご使用ください。
■記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護の法律に基づき、宿泊予約等の回答業務に必要な場合のみ利用いたします。

◆お申し込みについて◆

宿泊者名簿の該当事項を全てご入力の上、下記のメールアドレスへ添付送信下さい。

申込先: 近畿日本ツーリスト株式会社 東京私学教育旅行支店

MAIL: ecc-sports013501@or.kntct.com FAX: 03-6685-9566

※申込み受付の流れ 申込み(MAIL・FAX) → 「参加・宿泊予約確認証・請求書」の受取 → 入金(請求書期日まで) → ホテル受付(当日)

※10/16 17:00まで ※送付書類準備ができ次第、順次発送いたします。 ※当日は「宿泊予約確認証」をご持参ください。

令和８年度　全国私学教育研究集会青森大会　参加申込書

申込み締切日：10 月 23 日（金）

手続きがスムーズなオンラインフォームのご利用をお勧めしております。

メール：kenshukai@shigaku.or.jp
(本申込書の PDF を添付の上、お送り下さい。)
ＦＡＸ：０３-３２２２-１６８３

※メールにてお申込みの際は、「件名」に「青森大会申込」と記入して下さい。
※FAX にてお申込みの際は送信前に FAX 番号をご確認下さい。0(ゼロ)発信の FAX 機で送る場合は、「0」を押してから、FAX 番号を押して下さい。

令和 8 年　　月　　日

都道府県名		学校(法人)名	
学校所在地 (郵便番号は必ずご記入下さい。)	〒 TEL＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　FAX＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ メールアドレス　(　　)		
関係書類送付先	所属・職名		氏　名

◆すべての参加者の参加確認証および参加費の請求書・払込票は一括して「関係書類送付先」宛にお送りします。
（学校所在地欄に記載の住所にお送りします。）　※記入のない場合は№1 に記載の参加者にお送りします。
◆**参加希望部会（第 1 希望・第 2 希望）、教育懇談会（参加・不参加）、食物アレルギー（有・無）を〇で囲んで下さい。**

日私教研記入欄	No.	ふりがな 氏　名	職　名	参加希望部会 （会場の収容人数等により第 2 希望になる場合があります。ご了承下さい。）		教育懇談会 (有料)	食物アレルギーについて※
	1			第 1 希望	第 2 希望	参加	有
				私学経営　教育課程	私学経営　教育課程	不参加	無
				法人管理事務運営　生徒指導	法人管理事務運営　生徒指導		
				進路指導　全体会のみ	進路指導　全体会のみ		
				第 1 希望	第 2 希望	参加	有
				私学経営　教育課程	私学経営　教育課程	不参加	無
				法人管理事務運営　生徒指導	法人管理事務運営　生徒指導		
				進路指導　全体会のみ	進路指導　全体会のみ		
				第 1 希望	第 2 希望	参加	有
				私学経営　教育課程	私学経営　教育課程	不参加	無
				法人管理事務運営　生徒指導	法人管理事務運営　生徒指導		
				進路指導　全体会のみ	進路指導　全体会のみ		
				第 1 希望	第 2 希望	参加	有
				私学経営　教育課程	私学経営　教育課程	不参加	無
				法人管理事務運営　生徒指導	法人管理事務運営　生徒指導		
				進路指導　全体会のみ	進路指導　全体会のみ		
				第 1 希望	第 2 希望	参加	有
				私学経営　教育課程	私学経営　教育課程	不参加	無
				法人管理事務運営　生徒指導	法人管理事務運営　生徒指導		
				進路指導　全体会のみ	進路指導　全体会のみ		

※食物アレルギーがある方は「有」を〇で囲んで下さい。参加確認証送付時に食物アレルギーに関する連絡をお送りします。
※参加者が 6 名以上の場合は、恐れ入りますが本用紙をコピーしてご使用下さい。なお、その際、上欄の学校名を各々に記載し、2 枚目以降の№を 6、7、･･･と記入して下さい。また、右欄（№）に 1、2、･･･のように番号を記入して下さい。

No.

日私教研記入欄	

切り取り線

表紙　　りんごと岩木山（弘前市）

裏表紙　［左上から］

世界文化遺産「特別史跡　三内丸山遺跡」（青森市）

世界自然遺産「白神山地」ブナ林（西目屋村）

青森ねぶた海上運行（青森市）

弘前城と桜（弘前市）

五所川原立佞武多（五所川原市）

蕪島神社（八戸市）

まぐろ一本釣りの町　おおま（大間町）